

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉県中央区新町計画 新築	階数	地上13F
建設地	千葉県千葉市中央区新町24番1 他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	665 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2024年2月26日
敷地面積	1,666 m ²	作成者	株式会社長谷エコーポレーション
建築面積	796 m ²	確認日	2022年1月25日
延床面積	8,283 m ²	確認者	株式会社長谷エコーポレーション

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 67% ③上記+②以外の 67% ④上記+ 67%</p> <p>46 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>JR千葉駅から徒歩7分の近隣商業地域に店舗併用の共同住宅を計画した。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>庇とカーテンを組み合わせでグレア対策している。建築材料はJIS・JAS規格のF★★★★をほぼ全面的に採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>インターネット用にGbitクラスのブロードバンドが利用可能</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>0</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BEI=0.71</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体+軽鉄+仕上材の分別しやすい工法としている</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明を行っていない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される